

2018年度

公認スキー準指導員検定 理論問題冊子

平成30年2月24日(土)

試験時間 90分

解答は全て解答用紙に記入してください。

注意事項

- (1) 試験中は、ビブを必ず着用し、指定された席に着いてください。
- (2) 試験中は、一切の私語を慎み、監督官の指示に従ってください。
- (3) 試験実施時間は90分です。開始後60分は退出できません。
- (4) 試験中、問題の内容に関する質問は一切受け付けません。ただし、次の場合に限り、挙手をして監督官に申し出てください。
 - ① 問題等に印刷不鮮明の箇所があり判断できない場合。
 - ② 問題冊子(6頁)・解答用紙(3枚)に不足がある場合。
- (5) 試験中、不正・不法行為が行われた場合には、直ちに受検を中止させ、会場より退場を命じます。
 - ① テキスト・参考書・ノート・メモ等を所持し、解答に利用した場合又はその疑いのある者。
 - ② 他人の答案をのぞく、互いに解答を見せ合う、紙片をまわす、合図や相談をする、監督官から解答を引き出そうとする等の不正な行為を行った者。
 - ③ 故意に試験実施の妨害をしたり、監督官の指示に従わない者。
 - ④ 下敷きは使用できません。
 - ⑤ 筆記用具、消しゴム等の貸し借りは一切禁止します。
- (6) 試験時間中に発病又は一時休養を希望する者は、監督官に申し出てください。
- (7) 試験中の携帯電話やスマートフォン、その他の電子機器の使用は一切禁止します。電源を切り、荷物に格納してください。
- (8) 解答用紙全てに、受験番号(ビブNo.)、氏名を記入してください。
- (9) 問題冊子はお持ち帰りください。

問題1 次の文章は「公認スキー指導者規程」及び「公認スキー指導者研修会規程」にある指導者の任務や義務等についてまとめたものである。空欄に適切な語句を入れなさい。

1. 任務

指導者は、スキー界の(①)として(②)と(③)をもって、その(④)に努めなければならない。

2. 資格

指導者は、(⑤)の資格を有し、(⑥)に定めるところにより、その検定員となることができる。

3. 義務

- ・指導者の任務を完遂するため、加盟団体が主管するスキー指導者研修会に(⑦)参加し、(⑧)しなければならない。公認スキー指導員検定会の役員及び受検者は、(⑧)したもののみなす。また、参加する研修会場は、(⑨)に関係なく、自由に選ぶことができる。
- ・指導者は、加盟団体の事業には、(⑩)に参加しなければならない。

4. 資格の停止

指導者が、指導者研修会を2年続けて未(⑪)の場合は、指導者の資格を停止する。資格停止中の者は、(⑩)を行うことができない。

5. 資格の喪失

- ・本連盟会員登録規程第4条の規定により、会員の資格を喪失したとき
- ・本連盟の規約に違反し、指導者としての(⑫)ような行為があったとき
- ・資格の年次登録料を納期までに納入しないとき

問題2 次の事柄はスキーにおける日本人の功績について記したものである。空欄にあてはまる人名を【語群】より選び、記号で答えなさい。

- (1) 1956年 第7回冬季オリンピック・コルチナ大会で(①)がSL2位となる。
- (2) 1972年 冬季オリンピック札幌大会において70m級ジャンプで(②)が優勝。
- (3) 1978年 ワールドカップ・オーベルスタウフェン大会で(③)がSL5位入賞。
- (4) 1980年 第13回冬季オリンピック・レーク・プラシッド大会において70m級ジャンプで(④)が2位となる。
- (5) 1988年 ワールドカップ・オップダール大会で(⑤)がSL2位となる。
- (6) 1994年 第17回冬季オリンピック・リレハンメル大会で(⑥)、河野孝典、阿部雅司がコンバインド団体金メダル。
- (7) 1998年 第18回冬季長野オリンピックで(⑦)がモーグル金メダル。
- (8) 1998年 ワールドカップ・ヴェイソナ大会で(⑧)がSL3位となる。

- (9) 2006年 第20回冬季オリンピック・トリノ大会で (⑨) がSL4位となる。
 (10) 2014年 第22回冬季オリンピック・ソチ大会で (⑩) がスキーハーフパイプで銅メダル。

【語群】

ア. 八木弘和	イ. 荻原健司	ウ. 木村公宣	エ. 笠谷幸生	オ. 里谷多英
カ. 海和俊宏	キ. 猪谷千春	ク. 皆川賢太郎	ケ. 小野塚彩那	コ. 岡部哲也

問題3 スポーツ指導者が目指す **GOOD COACH** がすべきこととして、プレイヤーが自立(自律)し、自ら進んで取り組むための環境づくりをすることが挙げられます。そのために指導者はどのようなことを心掛ければよいか。6つ答えなさい。

問題4 8度目のオリンピック出場やワールドカップでの最年長優勝・最年長表彰台などの功績を残されている **A** 選手は「ノルディック競技」で活躍しています。このことについて、次の各問いに答えなさい。

- (1) **A** にあてはまる人名を答えなさい。
 (2) 10種類ある「ノルディック競技」の種目について、次の空欄を正しくうめなさい。

1. (①) 個人
2. (①) 団体 [4人]
3. (②)
4. ポピュラー (①)
5. (③) 個人 [ノーマルヒル・(④)]
6. (③) 個人 [(⑤)]
7. (③) 団体 [4人]
8. (③) 混成団体 [男2人・女2人]
9. ノルディック (⑥) 個人
10. ノルディック (⑥) 団体 [4人]

問題5 救急法を実践する際に「救助者の守るべきこと」について、次の空欄を正しくうめなさい。

- (①) の安全を確保します。周囲の状況を観察し、(②) の防止に努めます
- 原則として (③) は使用しません
- あくまでも (④) または救急隊などに引き継ぐまでの手当にとどめます
- かならず (④) の診療を受けることを勧めます
- (⑤) の判断を行なってはいけません

問題6 「ショック」の症状がある場合には、ただちに医師の診療を受けなければ生命にかかわる場合があります。その徴候を5つ挙げなさい。

問題7 日本スキー教程「初歩動作の指導」について、次の各問いに答えなさい。

(1) 初心者技術として「プルークボーゲン」を採用する理由について、次の空欄を正しくうめなさい。

- ◇ エッジング、(①)、(②)の基本要素を含んでいる。
- ◇ プルーク姿勢は左右それぞれの(③)を含んでいる。
- ◇ (④)な安定が、心理的な安心につながる。

(2) 初歩動作の最終目標は「滑走性の高いプルークボーゲン」です。その動作要領と指導の要点について、次の空欄をうめて説明しなさい。

動作要領

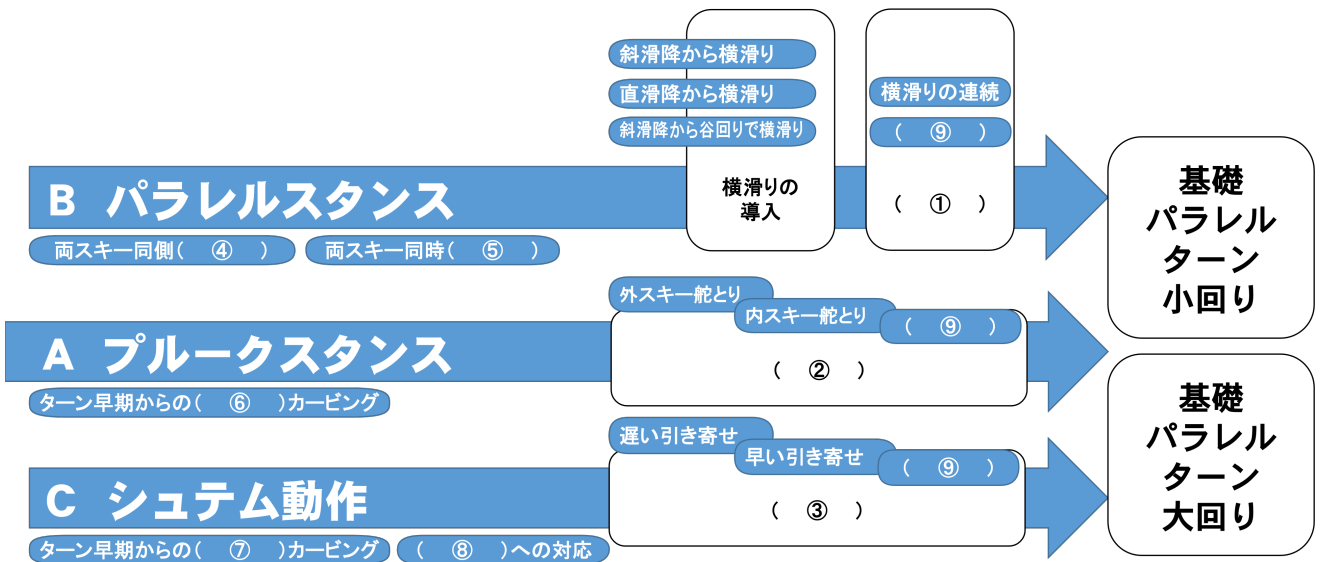
- (1) 制動のプルークボーゲンより(①)のとらえを強めて(②)に回り込みます。外脚の(③)を有効に利用します。
- (2) 制動のプルークボーゲンより(④)のとらえを強めて(⑤)から回り込みます。外脚の(⑥)を有効に利用します。
- (3) 正確なエッジングにより(⑦)の無駄な(⑧)を抑え(⑨)を高めます。

指導の要点

- (1) 外スキーへの(⑩)を左右交互にリズムカルに行ないます。
- (2) 脚の(⑪)を左右交互にリズムカルに行ないます。
- (3) 滑走性を高めることで脚の(⑫)を減らすことができ、長い距離を楽しく滑りこむことができます。

問題8 日本スキー教程「基礎パラレルターンの指導の展開」について、次の各問いに答えなさい。

(1) 次の図は「基礎パラレルターンの指導の展開」を示したものである。空欄を正しくうめなさい。



(2) 次の文章は「C シュテム動作」について説明したものである。空欄にあてはまる語句を【語群】より選び、記号で答えなさい。

シュテム動作は、(①)を(②)に最適な場所に直接置くことにより、ターンの(③)から(①)の(②)で舵とりを作り上げるための優れた練習方法です。一方で、開き出した(①)に(④)をそろえることが課題として残ります。緩斜面ではターン後半で身体の(⑤)を利用した(④)の返しを、急斜面では(④)を(③)にそろえて(⑥)舵とりへ移行する練習をします。とくに後者では(⑦)と合わせて練習を進めると効果的です。はじめは(⑧)シュテムし、次に(⑨)シュテムします。

シュテム動作は(⑩)での低速滑降、(⑪)、視界不良などの悪天候、(⑫)のための滑降として、広く実用に使われています。

【語群】

ア. 早期	イ. 中盤	ウ. 後半	エ. 内傾	オ. 外傾
カ. 外スキー	キ. 内スキー	ク. パラレル	ケ. プルーク	コ. 急斜面
サ. 緩斜面	シ. 滑走プルーク	ス. 横滑りの展開	セ. 荷物の運搬	ソ. 悪雪
タ. 持ち上げて	チ. カービング	ツ. スキッディング	テ. 雪面に接したまま	

問題9 次の文章は「パラレルターンの指導の展開」について説明したものである。文章を読んで、(1)～(3)の問いに答えなさい。

基礎パラレルターンを習得したスキーヤーへの次の課題は、いかなる状況にも対応できるパラレルターンへと学習者を導くかという点にあります。

そのために以下の4つの指導を展開します。

(①) (②) (③) (④)

ここからの練習課題は今までより高度ですが、学習者の（ ⑤ ）によっては割合に簡単に短時間で身に付く場合も多くあります。

そのような場合、次の課題をより短期間に習得するように(a) 指導法を組み立てる必要があります。

一方で、学習者の（ ⑤ ）によってはいくつかのできない難問に遭遇し、（ ⑥ ）に陥るかもしれません。そのような場合、一つひとつパラレルターンに必要な運動を理解させながら、指導法を組み立てていく必要があります。

さらに「（ ⑦ ）できる」から「（ ⑧ ）できる」ようになることも重要です。
(b) スキーヤー自身が自分で考えて理解することです。したがって、自分の滑りをビデオカメラ等で確認しながら修正する（ ⑨ ）学習がかかせません。

同時にこれらの理解力は比較能力を生み出し、他人からのアドバイスを効率的に処理できるようになり、そのことが逆に他人に対しての（ ⑩ ）を養うこととなります。

(1) 文章中の空欄にあてはまる語句を答えなさい。

(2) 下線部(a)について、指導者は実際の指導に先立ち、指導展開の道筋、方法と指導に必要な諸準備を整備しておく必要があります。具体的な確認事項について、空欄にあてはまる語句を【語群】より選び、記号で答えなさい。

1. 学習者の能力に応じた「（ ① ）」やそれに導く「（ ② ）」を立案する。
2. 目標達成のための「（ ③ ）」「（ ④ ）」の設定をする。
3. 学習を展開する上で有効な（ ⑤ ）と効果的な（ ⑥ ）を設計する。
4. 学習に必要な（ ⑦ ）を準備する。
5. （ ⑧ ）と資料、学習者へ渡す（ ⑨ ）の準備をする。

【語群】

ア. 教材	イ. 学習内容	ウ. 到達目標	エ. 斜面の選択	オ. 評価の方法
カ. 練習内容	キ. 技能評価表	ク. 段階目標	ケ. リフトの活用	

(3) 下線部(b)の推進を目指すには、学習者が自主的、自発的な学習ができるよう「やる気」を起こさせ、生涯にわたってスキー学習を継続させる指導方法を工夫することが何よりも必要です。学習者のモチベーションを喚起と強化するための手段として次に挙げる3つが考えられます。空欄にあてはまる語句を答えなさい。

1. 学習の「（ ① ）」や「（ ② ）」を具体的に理解させる
2. 学習者の能力レベルに応じた（ ③ ）課題、（ ④ ）課題を持たせる
3. 効果的な（ ⑤ ）の与え方を考える

問題 10 次の各問いに答えなさい。

- (1) 「SAJ」は何の略称か。正式名称を日本語で答えなさい。
- (2) 現在、第23回冬季オリンピックが韓国の平昌で開催されています。第1回冬季オリンピックの開催都市はどこか答えなさい。
- (3) 中急斜面での平行ルターンでは、ターンが進むにつれて速度・回転半径が変化します。このとき、受ける力の大きさ、方向が変化するので、バランスをとるために身体の傾きも変化します。このような「傾きの制御」を何というか。漢字6文字で答えなさい。
- (4) 基準による評価の分類には「絶対評価」、「相対評価」、「個人内評価」の3つがあります。このうち、目標到達度、あるいは基準満足度を測ろうとする評価方法は3つのうちどれにあたるか答えなさい。
- (5) 次の用語を説明しなさい。
 - (ア) 山回り
 - (イ) 雪面抵抗カ

問題 11 スキー指導者には技術指導力のみならず、スキーの本質的な楽しみ方をコーディネートできるリーダーシップも求められます。あなたはスキー指導者として、どのような指導活動を行っていきたいと考えますか。次の文章の内容を踏まえて、具体的に述べなさい。

教育本部は昨年ジュニア振興委員会を新設し、第1回全日本ジュニアスキー技術選手権大会を北海道ルスツリゾートスキー場において実施しました。スポーツ競技団体としての本連盟が競技本部、教育本部を問わずジュニアの育成に力を注ぐことは、組織の将来性という点からも極めて重要であることは自明のことと言えます。とりわけ、全国共通の指導者制度を持つ教育本部の活動が、こうしたジュニアたちにとって、スキー界への入り口となる可能性は高く、我々指導者の責任は重大です。

一方、超高齢社会と言われる状況の中で、シニア世代におけるスノースポーツの普及振興という役割も、健康寿命の伸長という社会的要請の観点から我々指導者の活躍に期待されているところが大きいと言えます。